

急変時の介護医学

急変を見抜くのは、利用者の生活を創っている介護職の力量にかかっています。
 また、病状の安定のほとんどは、医師・看護師以上に介護職が握っています。
 さらに、ケアの質を上げると診断が早まります。本セミナーでは、
 病状管理の方程式をマスターし、急変時の見抜き方と考え方を学びます。

神戸
会場

2019年

祝

日時：5月4日(土) 10:30~16:00

会場：神戸市産業振興センター
(801会議室)

(兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-4
*神戸ハーバーランド内)
☆JR「神戸」駅より徒歩5分

大阪
会場

2019年

祝

日時：5月5日(日) 10:30~16:00

会場：大阪府社会福祉会館
(505会議室)

(大阪府大阪市中央区谷町7-4-15)
☆地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」下車、
4番出口より南に250m

◆◆◆ 講師：清藤大輔 ◆◆◆



しいの木クリニック・院長/医師

1994年、熊本大学医学部卒。仙台市での在宅ホスピス勤務医を経て、2003年より11年間、老健施設の施設医を務める。2014年より介護老人保健施設・志木瑞穂の里副施設長、2015年より施設長。2018年、同施設退任後、ういずクリニック新横浜・院長を経て、2018年12月より現職。

へ
プ
ロ
グ
ラ
ム

10:30 ◎急変の早期発見と早期対応

▼ 急変とはどういう事態か/なぜ急変するのか/急変は予防できるか/慢性疾患の急性増悪/急変のリスク因子/事故防止の3つのレベル/救急車が来るまでにすべきこと/まずは脱水を疑う/発熱を見たら?/薬と急変

11:45 ◎2つ以上の症状の危険な組み合わせ

▼ 意識レベルの低下+(呼吸器症状、むくみ・息切れ、血圧上昇、手足の麻痺、冷汗、血圧低下)/頭痛+(嘔吐、首の痛み)/38度以上の発熱+(脈90以上、血圧低下、低血糖、腎機能低下)/入浴後+めまい/多量の排便+意識障害

13:45 ◎急変時のサインと緊急性の高い症状

▼ バイタルサインのパニック値、症状がどんどん悪くなる、急な体調変化・ADL低下、手足のしびれ、突然の激しい頭痛・食欲不振・胸痛・腹痛、便の色の異常、嘔吐、けが・骨折、薬の処方が変わった後の新規症状

15:00 ◎急変時の症状別対応

▼ 高熱/誤嚥・窒息/呼吸困難/意識障害/けいれん・てんかん/激しい頭・胸・腹痛/吐血・下血/骨折/やけど/鼻出血/低血糖発作と症状/入浴時の高血圧と急変

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合は一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料：7,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主
催

なるほどケア塾 お問い合わせ
〒189-0011 ☎042-306-3771
東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 ㈱円窓社内

お申し込みはこちらへ Fax

Fax：042-306-3772

<参加人数>

<参加者名> *施設の場合は施設名もご記入ください。	5/4(土) 神戸 ()名	5/5(日) 大阪 ()名
<住所>〒 (自宅・職場)		
<TEL>	<FAX>	